

○事業目的

- ・米沢～米沢北間は東北中央自動車道の一部を形成
- ・現道の快適性・安全性向上
- ・冬期の速達性・安定性向上による地域医療活動支援
- ・新規立地企業による地域の活性化、雇用の増加
- ・県全体での周遊促進、交流人口の拡大

○計画概要

起終点 : 自 : 山形県米沢市万世町
 : 至 : 山形県米沢市窪田町
 延長 (開通済) : 9.0 km (— km)
 幅員 : 13.5 m
 道路規格 : 第1種第2級
 設計速度 : 100 km/h
 事業化 : 平成15年度 (直轄高速方式移行)
 都市計画決定 : 平成7年度
 用地着手 : 平成19年度
 工事着手 : 平成20年度

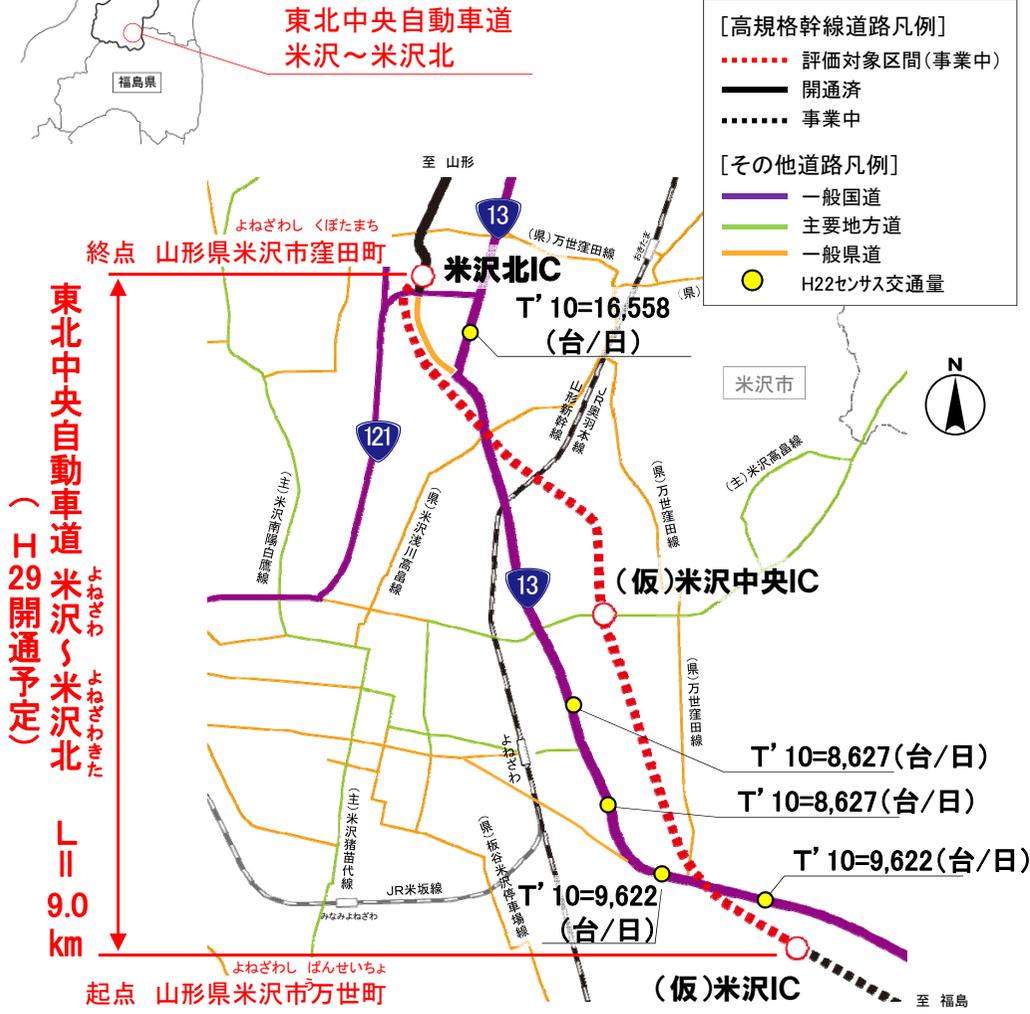
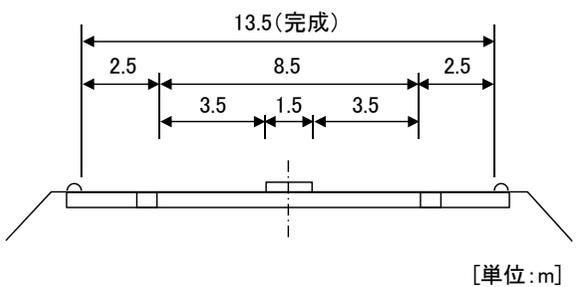
事業費・進捗率

	全体事業費 (うち用地費)	執行済み額 (うち用地費)	全体進捗率 (用地費)	H25再評価時 (用地費)
完成	334億円 (95億円)	314億円 (95億円)	94% (100%)	334億円 (95億円)

位置図



標準横断面図



コスト削減への取組内容

○新技術(アルミ合金鋳物製ジョイント) の導入 (金谷橋、元立橋、中田高架橋 - 0.4億円)

・**当初計画 : 0.73億円**

一般的な鋼製フィンガージョイントを想定

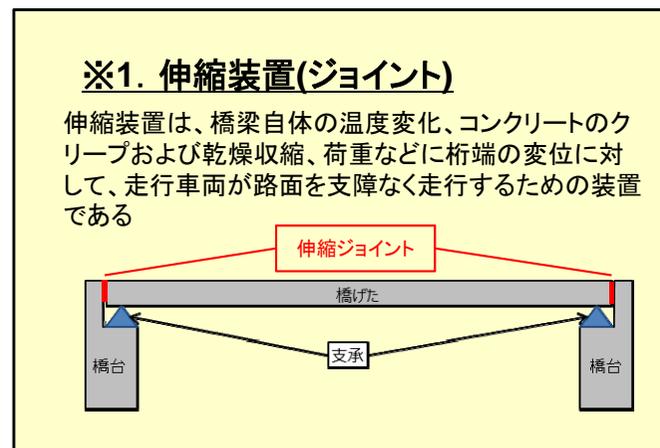
・**変更計画 : 0.33億円**

新技術である、アルミ合金鋳物製ジョイント※2を導入し、コスト削減を図る

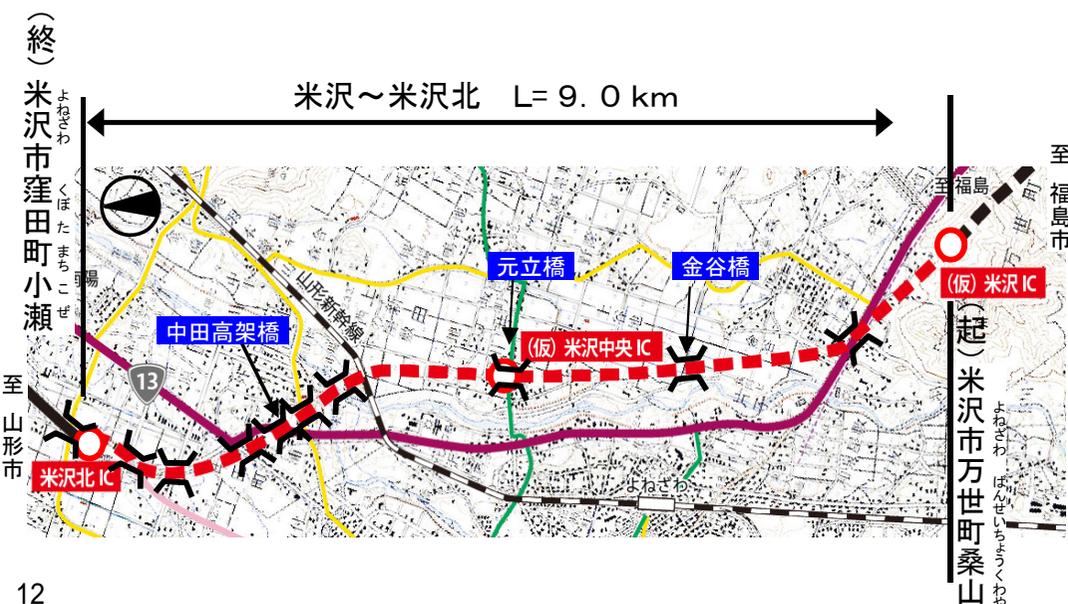
	当初	見直し	変動
金谷橋 (A1・A2橋台)	2基(遊間量110mm) (0.22億円)	2基(遊間量100mm) (0.10億円)	(-0.12億円)
元立橋 (A1・A2橋台)	2基(遊間量110mm) (0.29億円)	2基(遊間量110mm) (0.13億円)	(-0.16億円)
中田高架橋 (A1・A2橋台)	2基(遊間量100mm) (0.22億円)	2基(遊間量100mm) (0.10億円)	(-0.12億円)
所要額	0.73億円	0.33億円	-0.4億円

※2. アルミ合金鋳物製ジョイントとは

- ・本体がアルミ合金鋳物製であるため、軽量で塩害などの耐候性に優れる。止水に対してはハニカム状の止水ゴムが圧縮状態で内蔵されているため、止水性に優れ、走行音が橋梁下に透過し難い構造。
- ・構成部材がシンプルでありコンパクトであるため、施工コストの削減が可能。



位置図



当初

鋼製フィンガージョイント



変更(新技術)

アルミ合金鋳物製ジョイント

